

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/22現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	新光US-REITオープン（隔月決算型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	アセットマネジメントOne株式会社
販売委託元	アセットマネジメントOne株式会社
金融商品の目的・機能	米国の取引所上場および店頭市場登録の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、中長期での資産形成を目的とし、この商品の運用方針に則した収益を求め、元本割れリスクを許容する方を主な購入層として念頭においています。なお、この商品は毎月分配型の投資信託です。購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 毎月決算型との違いは、どんな点にありますか？
 - ② この商品が、私にとって好ましいと考える理由は、どういった点にありますか？
 - ③ 分配金の水準は、どういった場合に下がる可能性が高いですか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<保有不動産への評価>市場環境、規制、災害等の影響により価格の下落や配当金が減少する可能性があります。
	<配当利回り水準に対する評価>配当金の減少や配当利回り水準の相対的魅力度の低下はUS-REITの価格下落要因となります。
	<企業体としての評価>不動産投資信託の投資・運営の巧拙、財務内容により、US-REITの価格も変動します。
	<価格変動リスク>株価は、政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給等を反映して、短期的・長期的に大きく変動します。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<流動性リスク>有価証券を売買する際に、需給状況により希望する時期・価格で売買することができなくなることをいいます。
	<為替変動リスク>外貨建て資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<カントリーリスク>海外の有価証券に投資する場合、投資する国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制、制度変更等による影響を受けることがあり、基準価額が下落する要因となります。

過去1年間の収益率	* 有価証券届出書提出日(2023年9月11日)現在、年間収益率はありません
過去5年間の収益率	* 有価証券届出書提出日(2023年9月11日)現在、年間収益率はありません

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の6ページから9ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ 隔月決算型の基準価額は、毎月決算型と比べて安定するといえますか？
- ⑤ 基準価額の下落に大きな影響を与える経済環境として、こういった点に着目するとよいでしょうか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

(税込)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	窓口購入	インターネット購入
	2.75%	1.925%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年1.65%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ 手数料のかからない積立投資枠だけをやる方が、好ましいでしょうか？
- ⑦ 海外リートは、国内リートよりも手数料が高いと決まっていますか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還日は2048年9月7日です。但し、償還延長や繰上償還の場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料は生じませんが、信託財産留保額として0.1%をご負担いただき、信託財産内に留保します。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の11ページに記載しています。

- (質問) ⑧ この商品の解約申込をした日から、何日後に資金が入りますか。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.88%を上限として手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

- (URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ 特定の商品を推奨販売していることは、あるのですか？

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】

（URL①） <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

①

※ PDF形式で掲載しています。



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】

（URL②） <http://www.am-one.co.jp/fund/summary/313990/>

②

※ リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡します。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

新光US-REITオープン（隔月決算型）

	<質問>	<回答例>
①	毎月決算型との違いは、どんな点にありますか？	隔月決算型は、新NISA制度に対応した商品として新たにつくられたものですが、運用のマザーファンドは毎月決算型と同一です。
②	この商品が、私にとって好ましいと考える理由は、こういった点にありますか？	再投資によって口数と財産評価額を増やすこと、分配金受取りのキャッシュフローを得ること、どちらも選択いただける点です。
③	分配金の水準は、こういった場合に下がる可能性が高いですか？	例えば、ファンドの運用成績が数ヶ月連続して下落しているような場合に、その可能性が高くなります。月次決算情報は、ファンドHP（マンスリーレポート等）でもご確認いただけます。
④	隔月決算型の基準価額は、毎月決算型と比べて安定するといえますか？	毎月分配金を支払う負担が軽減される点は基準価額の維持につながりますが、上場リート価格の変動という本質的な要因は同一です。
⑤	基準価額の下落に大きな影響を与える経済環境として、こういった点に着目するとよいでしょうか？	米国の商業不動産価格の下落・賃貸不動産の空室率が上昇すること、また為替レートのドル安も下落要因として着目できます。
⑥	手数料のかからない積立投資枠だけをやの方が、好ましいでしょうか？	積立投資枠は、毎月同じ額を同じ日に買い付けることになるため、一方で任意の金額を任意のタイミングで投資できる成長投資枠と併用することが、合理的といえます。
⑦	海外リートは、国内リートよりも手数料が高いと決まっていますか。	必ずそのように設定されるわけではありません。しかし、商品の運用や情報収集面から、コストが高めに見積もられている傾向はあります。
⑧	この商品の解約申込をした日から、何日後に資金が入りますか。	海外市場のファンドになるので（月曜日）申込、（金曜日）資金化となるのが基本です。
⑨	特定の商品を推奨販売していることは、あるのですか？	多くのお客様が購入なさる商品であっても、常にお客様ご自身の運用資産構成に配慮したご提案を差し上げておりますので、ご安心ください。